



青森総合卸センターニュース

編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町 2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323
URL http://www.tonyamachi.com E-mail info@tonyamachi.com 発行/2019年12月27日



児童に交通安全を呼びかける工藤支部長（荒川小）

青森交通安全協会問屋町支部では、2019年9月22日に達成した問屋町内交通死亡事故ゼロ8千日を記念し、問屋町が学区に含まれる荒川小学校、横内小学校の1年生に交通安全グッズを寄贈した。10月31日（木）には荒川小学校、11月12日（火）には横内小学校を訪れ、同支部の工藤支部長が代表児童に反射材ミニバンドを手渡した。受け取った児童は「ありがたいです。大切に使います」と元気よく答えた。



反射材ミニバンドを寄贈（横内小）

統計によると、小学校1年生の歩行中の交通事故死者数は6年生の約4倍。小学校に入学して行動範囲が広がり、児童だけで行動することも増えることが要因とされている。工藤支部長は挨拶の中で「交通ルールをしっかり覚えて絶対に守り、事故のない明るく楽しく元気な小学校生活を送ってほしい」と述べた。

同支部及び組合では、今後も死亡事故はもちろん交通事故の撲滅を目指し、安全運動の励行をはじめとした交通安全啓発活動を続け、問屋町内交通死亡事故ゼロ記録更新を継続していく。

当組合や青森交通安全協会問屋町支部が取り組む「問屋町内交通死亡事故ゼロ推進運動」により、問屋町では1996年9月より22年にわたり交通死亡事故が発生していない。死亡事故ゼロ8千日は市内にある32支部の中でも2番目に長く、中央卸売市場が隣接し大型車両を含め交通量の大変多い問屋町での記録達成は誇るべきものである。



中央高に寄付する和田社長（左から2人目）

組合員の和田ゴム販売㈱がみちのく銀行が扱う学校寄付型私募債を発行。同行が発行手数料の一部を拠出し、10万円を青森中央高校読み聞かせ隊の活動費として寄付した。青森中央高校の読み聞かせ隊は地域の園児や東日本震災被災地の子供たちなどに絵本の読み聞かせ活動を行っている。同隊は「部」としてではなくボランティアの一環として有志を募り活動しており、活動費の捻出に苦慮していた。同校の評議員を務める和田ゴム販売㈱の和田社長がそのことを知り、今回の寄付先選定に至った。

死亡事故ゼロ8千日達成記念 交通安全グッズ寄贈

大青工業が東奥賞受賞

組合員の大青工業㈱が、このたび第72回東奥賞を受賞した。12月7日（土）にはホテル青森で贈呈式が行われ、同社の鳴瀬社長に賞状とメダルが手渡された。

東奥賞とは地元紙の東奥日報社が、文化、芸術、産業など各分野で活躍した個人や団体を表彰するもの。今年度は1個人3団体に贈られた。大青工業㈱は、冷蔵と冷凍の間の温度領域である「氷温」の技術を長年にわたり研究し、氷温技術を用いた「生鮮食品の鮮度保持と熟成に資する氷」とを売り出した。



贈呈式に参加する鳴瀬社長（下段中央）

和田ゴム販売が学校寄付型私募債発行

組合員の和田ゴム販売㈱がみちのく銀行が扱う学校寄付型私募債を発行。同行が発行手数料の一部を拠出し、10万円を青森中央高校読み聞かせ隊の活動費として寄付した。

**今年度の問屋町内除排雪
作業の委託業者と承認
第6回理事会**

11月18日(月)に問屋町除排雪作業の委託業者などを審議する第6回理事会が開かれ、全て原案どおり承認された。

また、事務局からは問屋町緑のボランティア隊の活動についてなど報告した。

主な案件審議は次のとおり。
案件一：環境対策委員会からの意見について

案件二：土地取得及び取得資金の借入について
案件三：第53回通常総会の日

**1投ごとに一喜一憂
問屋町ボウリング大会**

今回で43回目を迎える問屋町ボウリング大会を、11月22日(金)にアオモリボウルにて開催した。労務対策事業の中で最も歴史ある同大会には、近年最多となる34組102名が参加した。

大会は1チーム3名の団体戦と個人戦を実施。参加者からの要望を受けて今年度から3ゲームを2ゲームに減らし、トータルスコアで順位を決定。参加者は1投ごとに一喜一憂し、ストライクやスペ



ストライクを喜ぶ参加者



タイトルを総なめした計算センターチーム

大会は1チーム3名の団体戦と個人戦を実施。参加者からの要望を受けて今年度から3ゲームを2ゲームに減らし、トータルスコアで順位を決定。参加者は1投ごとに一喜一憂し、ストライクやスペ



インフルエンザ集団予防接種

アを達成してハイタッチするなど会場は大盛り上がり。熱い戦いが繰り広げられた結果、団体戦は青森共同計算センターBチームが優勝。個人戦は、男性の部が青森共同計算センターの古川学氏、女性

の部も同社の奥村桂氏が優勝し、タイトルを総なめにした。今回もスコアを競い合うだけではなく誰でも達成可能な特別賞が多数設けられ、表彰式では多くの参加者が賞品を手にした。

今回で9年目となるインフルエンザ集団予防接種が10月29日、11月5日、12日の3日間、問屋町会館にて開催された。組合員のほか近隣企業にも受診を呼びかけたところ、昨年を大きく上回る1,153名が受診した。

よう職場に近い問屋町会館で実施したところ大変好評で、参加者数も年々増加。開催日数を増やしたり申込みも30分区切りで受け付けするなど、受診者を待たせることなくスムーズに進められるよう改善を続けている。

富山の卸団地など視察

程等について
案件四：2019年度第7回理事会の日程等について
理事会終了後には青森問屋町配送(株)の第3回取締役会が開かれ、提出案件が全て原案どおり承認された。

組合では県外の卸団地やまちづくり等を視察する国内経済視察会を11月7日(木)から11月9日(土)までの3日間行った。今回は西理事長を団長に組合員ら15名が参加し、富山市役所や(協)富山問屋セン

ターなどを視察した。富山市は公共交通を軸としたコンパクトなまちづくりを目指して多くの施策を展開。実現するための基本方針として①公共交通の活性化②公共交通沿線地区への居住推進③中心市街地の活性化の3つを掲げている。公共交通・中心市街地を活性化することで歩くライフスタイルを推進。人への効果として健康寿命の延伸や社会保障費削減、まちへの効果として地域経済や地域コミュニティの活性化に繋がると考えていると話した。



富山市の担当者が概要説明



富山問屋センター会館前で記念撮影

ターは昭和37年に設立され、組合員49社で組織される。同卸団地にはアーケードでつながれた連棟式の組合員施設が3棟残っており、老朽化が進み大きな課題となっている。

また、全国でも珍しい地下水を利用した道路消雪装置が団地内に巡らされており、参加者は当卸団地では目にするこ

フードビジネスの明日を切り開く

食品総合商社



昭産商事青森支店

青森市問屋町2丁目15-9
電話 (017) 738-4514

創業 明治 39 年

- 計量器製造(経済産業大臣) ●計測器修理(青森県知事)許可
 - 建設業登録 ●機械器具設置工事業(青森県知事)許可(般-1)第15046号
 - 電気通信工事業(青森県知事)許可(般-1)第15046号
- 健康管理測定用機器(体組成計・血圧計・活動量計他)
レタースケール・キッチンスケール・アルコール検知機
測量機器・測定機器・観測機器・気象観測機器・試験機

青森株式会社 西衡器製作所

本社 〒030-0801 青森市新町二丁目6番20号 TEL(017)773-1311 FAX(017)723-2368
青森支店 〒030-0113 青森市第二期問屋町四丁目2番30号 TEL(017)739-9555 FAX(017)739-9557
八戸支店 〒039-1121 八戸市卸センター一丁目5番16号 TEL(0178)21-8100 FAX(0178)21-8101
弘前支店 〒036-8093 弘前市城東中央三丁目4番14号 TEL(0172)26-3890 FAX(0172)26-3891

交通事故防止対策を協議
問屋町交通診断

青森交通安全協会問屋町支部(工藤支部長)では、問屋町の交通事故防止対策を協議する問屋町交通診断を11月19日(火)に実施した。当日は、青森警察署、国、県、市の各関係機関の担当者のほか、問屋町支部会員27名が出席した。診断では貸切バスで移動し、問屋町内で交通事故の発生が予想される箇所等を視察。県内でも有数の人身事故多発箇所である第二問屋町北口交差点では降車して現地の状況を確認。視察後は問屋町会館に戻り対策を協議した。



問屋町交通診断

結果、関係機関から多くの協力が得られて様々な事故防止対策が実施されている。今回の診断では北口交差点の事故防止対策を関係機関に嘆願。また市に対し、問屋町枝線道路の早期アスファルト舗装の実施についても強く要望した。

中小企業大学校仙台校
サテライトゼミ開催

中小企業大学校仙台校のサテライトゼミ「新任管理者研修」が問屋町会館2階大会議室で開催された。11月13日(水)から15日(金)までの3日間行われた同研修には、青森市内、県内はもちろん、県外からも多くの申込みがあり、43名が受講した。同研修は、仙台校と当組合が運営する問屋町ビジネススクール(公財)21あおもり産業総合支援センターの3社共催で昨年に引き続き開催。研修ではチームを円滑に運営するためのリーダーシップや部下のやる気を引き出すコミュニケーションスキル、職場で発生する問題への対処法など、グループワークも交えて学んだ。また、研修内で受講生から寄せられた現状の課題に対し、講師からの解決策アドバイスがまとめられた資料が配付されるなど、受講者にとつては大変有意義な研修となった。



新任管理者研修

問屋町たんしん

①第9回問屋町従業員親睦交流会

日時 2月7日(金)
午後7時～9時
場所 ダイニング椿
参加料 1,500円

②問屋町ボルダリング教室

日時 2月17日(月)
午後7時～8時
場所 Glide Climbing
参加料 500円

お問い合わせは、卸センター業務部(273814711)まで。

業務報告

… 主要事項 …

11月

- 1日▽問屋町支店長・所長連絡会第2回幹事会
- 2日▽青森公立大学フィールドスタディ
- 5日▽インフルエンザ集団予防接種(2日目)
- 6日▽問屋町石膏アート教室
- 7日▽国内経済視察会(～9日)
- 11日▽第2回環境対策委員会
- 12日▽インフルエンザ集団予防接種(3日目)
- ▽安協問屋町支部交通安全

全グッズ寄贈式(横内小)
13日▽問屋町納税貯蓄組合第49回定例会

15日▽金融審査会
18日▽第6回理事会

▽北日本流通ヴァン(株)第2回取締役会
▽県流通団地連絡協議会第33回通常総会

19日▽安協問屋町支部交通診断

21日▽第8回フラワーアレンジメント教室

22日▽第43回問屋町ボウリング大会

28日▽問屋町経営同友会第3回役員会
29日▽第3回とんやまち健康づくり実践塾

… 問屋町 …

ビジネススクール

▽問屋町経営同友会第30回会員交流会

7日▽ビジネススマナー実践研修・クレーム対応編

13日▽中小企業大学校仙台校・新任管理者研修①

14日▽中小企業大学校仙台校・新任管理者研修②

15日▽中小企業大学校仙台校・新任管理者研修③

20日▽営業ツールの活用術・実践編

21日▽Y's CLUB②

28日▽業務効率を上げる5S活動

住宅設備機器・冷暖房機器
住宅関連商品総合卸商社

株式会社 金辰商事

本社 青森市第二問屋町3-3-13 TEL 729-3111
営業所 仙台・弘前・盛岡・八戸



宇部三菱セメント(株)特約店



株式会社 青森カイハツセメント

本社 青森市第二問屋町三丁目6番12号
電話(017)739-2436(代)

八戸支店 むつ営業所 五所川原営業所

4K8K 衛星放送

マスプロは4K・8K衛星放送受信設備の
パイオニアとして応援します。



オリエント商会株式会社

青森市第二問屋町三丁目6-8 電話 739-0163

入学生募集!

-e sportsクリエイト専攻 新設-

職業訓練法人 青森情報処理開発財団

あおもりコンピュータ・カレッジ

青森市荒川字柴田129 TEL 017-739-1311
URL: http://www.acc.ac.jp

市内大学生を対象にインターンシップ体験会を実施

組合では、組合員企業のインターンシップ導入を支援する「インターンシップ導入プロジェクト」に今年度から取組んでいる。このたび、同プロジェクトに参加している組合員企業3社（丸大堀内グループ、青森綜合警備保障㈱、㈱青森共同計算センター）が市内大学生を対象にインターンシップ体験会を実施した。

同プロジェクトではこれまで、人事コンサルティングの嶋田葵氏をコーディネーターに迎えて勉強会を重ね、各社はインターンシッププログラムづくりに取り組んできた。今回の体験会は、各社のプログラムを実際に大学生に体験してもらって感想や意見を募り、内容のブラッシュアップを図ることを目的に開催された。



インターンシップ体験会

10月31日（木）には青森綜合警備保障㈱が実施。自社の概要説明や施設見学に加え、警備員に求められる礼式や基本動作体験、護身術体験、消火訓練体験など警備業務の基本となる知識や技能の講義・体験が行われた。11月7日（木）には丸大堀内グループの体験会が行われた。同社では加工場での総菜等キック体験のほか売り場の棚割体験等々、食品酒類卸売業の営業マンや加工場職人の日常業務を体験した。

（㈱青森共同計算センター）の体験会は11月14日（木）に実施。機密情報を多数取扱う同社の厳重にセキュリティが張り巡らされた施設の見学。また、「手取り給与のカラクリについて」など、通常の企業説明会では聞けない内容が盛りだくさんで、参

加した学生は興味深々な様子で聞いていた。参加した学生からは「実際に見たり聞いたりしないと分からなかったことを知ることができ、各社の対応も懇切丁寧で非常に参考になった」との感想が寄せられた。

大人気企画のフラワーアレンジメント教室が11月21日（木）に問屋町会館で開かれた。同教室は、青森県花のくにづくり推進協議会（富樫会長）の協力のもと男性限定で開催され、17名が参加。11月22日の「いい夫婦の日」を前に、妻への日頃の感謝の気持ちを込めて作品作りに励んだ。

また12月10日（火）には女性も参加可能な同教室が開催され、

問屋町でアート体験 石膏アート教室

11月6日（水）に石膏アート教室が問屋町会館で開催された。初開催となる同教室には組合員従業員ら13名が参加した。講師は、組合員㈱エーアイサイン代表取締役社長の石澤暁夫氏。同氏は屋外広告業を営む傍ら、水彩、油絵の風景画や石膏、アクリルを駆使した抽象画を描き、今年の4月にはニューヨークアートエキスポにも出展するなどアーティストとしても活躍する。

今回は、誰でも簡単に短時間で完成させることができる石膏アートに挑戦。はじめに木製の板に絵の具を塗り、その上に水

慣れない花の扱いに四苦八苦 フラワーアレンジメント教室

32名が参加してクリスマスをイメージした作品を作りあげた。

同プロジェクトではこの後、大学生の感想や意見等をフィードバックして各社のプログラムを練り上げ、完成を目指す。またできあがったモデルプログラムは、2020年2月に開催予定の報告会で発表する。

問屋町でアート体験 石膏アート教室

参加者は思った以上に簡単に作品ができあがり満足気な様子で、作品を大事に抱えて持ち帰った。

で溶かした石膏を重ね、手や板を使ってフォルムをデザインして作品を作りあげた。

フラワーアレンジメント教室

同プロジェクトではこの後、大学生の感想や意見等をフィードバックして各社のプログラムを練り上げ、完成を目指す。またできあがったモデルプログラムは、2020年2月に開催予定の報告会で発表する。

同プロジェクトではこの後、大学生の感想や意見等をフィードバックして各社のプログラムを練り上げ、完成を目指す。またできあがったモデルプログラムは、2020年2月に開催予定の報告会で発表する。

青森県内の患者様のため 最良の医療機器を提供する 株式会社 北斗医理科

Table with 4 columns: Location (青森営業所, 八戸営業所, etc.), Phone Number, and Fax Number.

編集後記 今号の目玉は「問屋町内死亡事故ゼロ8千日達成」です。千日は2年9か月です。千日は2年9か月です。千日は2年9か月です。